

【学校教育目標】

『自立への芽を はぐくむ ～考えます、助けます、動きます、いっしょにチャレンジしようわっ子～』



まようわっ子

【在籍 133 名】 ①14 ②22 ③21 ④22 ⑤26 ⑥28

大仙市立協和小学校
学校報

2024. 9. 13

<No. 21>

【文責：校長】

4年生「学級活動授業研究会」感謝の思いを伝えるには？(9/11)

大仙市教育委員会から〇〇〇〇先生、南教育事務所仙北出張所から〇〇〇〇先生を本校にお迎えし、4年生の学級活動の授業を見ていただきました。

今回の授業は「自分もみんなも納得のいく、よりよい話し合いをすること」をねらいとしています。4年生の皆さんは「ゆめ感謝プロジェクトの計画を立てよう」という議題を設定し、お世話になった方々に感謝の気持ちを伝えるための方法について話し合いを行いました。

たくさんの提案について、なぜそれを行いたいのか、理由について子どもたちから説明した後で、「才式で行うのか、各家庭で行うのか」を分けるために話し合いが進みました。友だちの意見をしっかり聞いて、途中から自分の考えを変えることのできる子どもやそれぞれの意見の良さを合わせることで新しい意見を提案する子どももいて、ふだんから様々なことをみんなで話し合っていることが伺えました。

指導主事の先生にも4年生の皆さんのことをたくさん褒めていただきました。この後、協和小のリーダーとなっていくゆめ学年の姿を楽しみにしています。



今回の司会グループ。それぞれの役割をきちんと理解し、ときばきと話し合いを進めてくれました。



ほとんどの子が、手を挙げて、堂々と自分の意見を発表することができました。素晴らしい！



ちょっと困ったときにはペアでの話し合いを取り入れることで、話し合いが活性化していました。

3年生が農家の仕事を見学しました(9/5)

5年生の米作りの学習でもお世話になっている「たねっこライスセンター」に3年生が出かけました。「農家の仕事を見学し、野菜作りの工夫を見つけ、疑問に思ったことを質問してくる」ことが学習のねらいです。案内して下さった工藤さんのお話をよく聞き、子どもたちはしっかりメモをとっていました。



3年生はこの後、スーパーマーケットや協和スキー場など、まだまだフィールドワークに出かけ、学習を深めていく予定です。

岩手県からの訪問～野田小学校6年生(9/4)

一昨年、昨年に引き続き岩手県九戸郡野田村の野田小学校6年生のみなさんが修学旅行で本校に立ち寄ってくれました。野田小学校の〇〇前校長先生が協和出身というご縁からの来校のようです。今年度は、校長先生が〇〇先生という方に替わられたのですが、昨年までの子どもたちから、「協和小学校との交流が楽しかった」という声が非常に多かったため、今年も修学旅行のコースに組み入れたというお話を伺いました。はじめにホールで総合的な学習の時間に調べ、まとめた「震災から学ぶ」について発表してくれました。東日本大震災の被害を受けてから、地域が一丸となって復興に向けて取り組む様子や、たくさんの人々の努力や思いについての大変興味深い内容でした。また、体育館に場所を移して披露してくれた「ソーラン」は、迫力があり、見ている私たちも含めた、その場にいる全員の心を一つにしてくれる、素晴らしい演技でした。一時間半ほどの交流でしたが、子どもたちはすぐに打ち解けてなかよくなっていました。これからも交流できる様々な形を模索していければと思います。



←「野田村の最高に輝く星になろう」のキャッチフレーズが印字された児童・先生おそろいのTシャツで来校。素敵ですね！
→野田村の紹介や震災について学習したことをわかりやすく伝えてくれました。



→「協和小学校の紹介」です。6小学校が統合してできた背景やマスコットキャラクターのわっち学校の特徴的な活動について、6年生が説明してくれました。
←野田小学校のみんなも、真剣に聞いてくれました。



←「交流タイム」→
ソーランも含めて一通り発表が終わり、短い時間でしたが、簡単なゲームで仲良くなりました。協和小学校からのプレゼントの贈呈もありました。



「全員で、ピース！！」
野田小学校との交流は大成功でした。みんなとってもいいスマイルです。この後も、何かの形で交流ができればいいですね。



今週末、来週末と三連休が2回続きます。学習発表会に向けての練習等も始まっています。休日の子どもの過ごし方についてのご指導を引き続きよろしく願いいたします。

